

産業能率大学 経営学部

自由が丘コンシェルジュ		履修年次	2
		単位	2
櫻井 恵里子、武内 千草		配当期	通年
		授業方法	演習/対面
授業の内容			
<p>[授業の概要]</p> <p>「自由が丘コンシェルジュ」は自由が丘商店街振興組合と本学とのコラボレーションによる、大学と地域とが一体となって進める授業である。東京都の体感治安改善事業の一環として始まった経緯から、自由が丘の街の防犯(巡回や交通整備)と案内が主たる活動内容である。学生は、毎週日曜日・祝日の歩行者天国の時間、又、自由が丘の3大イベント(スイーツフェスティバル、女神まつり、クリスマスイベント)においてコンシェルジュとして活動し、「楽しく安全な街・自由が丘」をアピールする。来街者にいかに街を好きになってもらうか、安心して楽しんでもらえるかを考え、行動することにより、自由が丘の街を学習のフィールドとし、ホスピタリティの重要性を実践で学ぶことが出来る。来街者のニーズを素早く把握し、柔軟に対応するためには、自由が丘の街の最新トピックスや新店舗開店情報など、事前の情報収集も大切である。又、マナー研修やホスピタリティ研修、救命講習研修などを受けることにより、コンシェルジュとしてのスキルアップを図る。</p> <p>この授業は通年で実施され、講義・研修と実習で構成される。主要イベントを含めて、下記のスケジュールに沿って運営する。既定の授業回数に達しない場合、又、実習活動において素行態度不良の場合は、即不合格となる。</p> <p>自由が丘の顔として行動する責任感、来街者へのホスピタリティ精神を発揮するボランティア精神などが要求され、負荷が大きい授業であるが、「街のコンシェルジュ」として地域活性化の取り組みに携わりたいという気概のある学生を歓迎する。</p> <p>※なお、「自由が丘イベントコラボレーション」「世田谷タウンプロジェクト」との同時履修は認めないので、注意すること。</p>			
この科目の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンシェルジュの活動を通して、ホスピタリティの重要性を理解し、実践できる。</li> <li>・来街者に接することにより、現場判断能力、対応力とコミュニケーション能力を身に付けることができる。</li> <li>・地域との連携活動を経験することにより、責任感を身に付ける。</li> <li>・実習に積極的に参加し、全員で情報を共有することにより、課題に対して協同して取り組むことができる。</li> </ul>			
成績評価の方法			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義、研修、全17回のコンシェルジュ実習に参加することが単位取得の前提となる。</li> <li>・街の防犯や案内実施のための事前・事後の情報収集、全員での情報共有を行うなどの積極性、協調性を評価する。</li> <li>・自由が丘商店街振興組合に対して、来街者に対して、コンシェルジュ全員に対する責任感を評価する。</li> </ul>			
週	授業項目	週	授業項目
1	オリエンテーション【自由が丘コンシェルジュの活動内容】	14	コンシェルジュ実習⑦ (9/5or12or19or20or23or26)
2	自由が丘の街の地理、特徴を把握する①	15～16	上級救命講習研修
3	自由が丘の街の地理、特徴を把握する②	17	コンシェルジュ実習⑧ (10/3or17or24or31)
4～5	スイーツフェスティバル参加・コンシェルジュ実習①② (5/2～5/5)	18～19	女神まつり参加・コンシェルジュ実習⑨⑩ (10/10、11)
6	スイーツフェスティバル総括	20	女神まつり総括
7	自由が丘の歴史、文化を学習する	21	コンシェルジュ実習⑪ (11/7or14or21or23or28)
8	コンシェルジュ実習③ (4/25or5/9or16or23or30)	22～23	クリスマスイベント参加・コンシェルジュ実習⑫⑬(12/5)
9	マナー研修	24	コンシェルジュ実習⑭ (12/12or19or26)
10	案内業務実技向上	25	ホスピタリティ研修
11	コンシェルジュ実習④ (6/6or13or20or27)	26	コンシェルジュ実習⑮ (1/9or10or16or23or30)
12	コンシェルジュ実習⑤ (7/4or11or18or 25)	27	コンシェルジュ実習⑯ (2/6or11or13or20or23or27)
13	コンシェルジュ実習⑥ (8/1or8or9or15or22or29)	28	コンシェルジュ活動実施。 必ず1日(約4時間:授業1回分)参加が義務である。